



▲老朽化が進み、移転する第一分団瀬戸班格納庫

### ■第一分団瀬戸班の格納庫移転

本町消防団の第一分団瀬戸班の格納庫は、立地場所に危険性があること、また、老朽化が進んでおり、他の格納庫に比べて狭いことから、緊急時の消防団活動に支障をきたす恐れがあります。このため、以前に無償譲渡を受けた吉原橋交差点付近の土地に移転したいと考えています。

また、桂川駅周辺の整備に伴う駅南側の開発等に対応するため、新たに防火水槽を設置します。

### ■タブレット端末導入

#### 議会のペーパーレス化

議会運営においてタブレット端末を導入することにより、各種資料の閲覧・検索や情報の収集など議員活動の向上に資するとともに、紙代や印刷代の経費節減及び議会資料作成等に係わる事務の効率化を図ります。

### ■空き家対策

人口減少や高齢化に伴い、全国的に空き家が増加しています。総務省実施の住宅・土地統計調査によりますと全国の総住宅数6千63万戸に対し、空き家は820万戸、約13.5%にあたります。空き家の管理は所有者等の責任ですが、適切な管理が行われていない場合は、防災、衛生、景観上において生活環境に深刻な影響を及ぼすことがあります。このため、本町では空き家の状況を把握するための「空き家実態調査」を実施いたします。

### ■都市計画道路

#### シカヤ飯塚牟田線

都市計画道路・シカヤ飯塚牟田線のうち、桂川町役場前交差点から国道200号までの区間につきまして、都市計画道路としての道路法線や幅員等に関して見直しが必要となりましたので、早期に取り組みを進めたいと考えています。



シカヤ飯塚牟田線の一部

### ■地域商社いいバイ桂川

毎週水曜日にコミュニティカフェや野菜、加工品等の販売、学校給食への食材の提供をはじめ、とれたて村や嘉穂総合高校との連携事業に取り組んでいるところです。また、毎月第1木曜日に高齢者向けサロン「ひまわりカフェ」も開催しています。今後は、「ゆのうら体験の杜」との連携や町の農産物の販路拡大も視野に入れ、特産品の開発など自立に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

なお、地域おこし協力隊員として現在2名が業務にあたっていますが、新たに1名の増員を計画しています。

